

東部総合処理センター破砕選別施設 整備・運営事業

審査講評

令和4年12月

西宮市一般廃棄物処理施設整備事業者選定委員会

委員名	所属・役職等
奥田 哲士	龍谷大学 先端理工学部 教授
築谷 尚嗣	ひょうご環境創造協会 環境技術専門員
畠田 健治	ミネルヴァ法律事務所 弁護士
宮崎 ひろ志	関西大学 環境都市工学部 専任講師
和田 聡子	大阪学院大学 経済学部 教授

目 次

第1 選定委員会の審議・審査等の経緯	1
第2 審査結果	2
1 応募者	2
2 参加資格審査	2
3 提案審査	2
第3 落札者等の候補の市に向けた答申	5
第4 各提案に関する評価の概要	6
第5 選定委員会の総評	7

第1 選定委員会の審議・審査等の経緯

本事業の落札者等の候補を選定するために、選定委員会を6回開催した。選定委員会の審議・審査等の経過については下表のとおりである。

選定委員会	開催日	審議・審査等の事項
第1回	令和3年(2021) 10月5日(火)	1) 役員選出 2) 実施方針及び要求水準書の審査等
第2回	令和4年(2022) 3月11日(金)	1) 事業スケジュールの見直しについて 2) 事業者の提案を受けての実施方針と要求水準書の見直しについて 3) 入札説明書, 落札者決定基準, 契約書(案)について
第3回	令和4年(2022) 4月11日(月)	1) 事業者ヒアリング(要求水準書(案)について追加の意見交換)の結果報告 2) 事業者ヒアリングを受けての実施方針と要求水準書(案)の見直しについて(第2回選定委員会からの変更点) 3) 入札説明書, 落札者決定基準, 契約書(案)について(第2回選定委員会からの変更点)
第4回	令和4年(2022) 10月18日(火)	1) 資格審査, 技術対話の結果について 2) 技術提案書, 明瞭化事項について 3) 総合評価について 4) 今後のスケジュールについて
第5回	令和4年(2022) 11月22日(火)	1) 応募者への技術提案書ヒアリング 2) 技術点 評価について 3) 今後のスケジュールについて
第6回	令和4年(2022) 11月25日(金)	1) 開発結果, 価格点評価について 2) 総合評価について 3) 答申書, 審査講評の作成について

第2 審査結果

1 応募者

本事業における応募者は、次の1企業グループであった。

項目	企業名
提案受付番号	CS-03
応募者名	極東開発工業（株）グループ
代表企業	極東開発工業株式会社
プラントの設計・建設業務を行う者	極東開発工業株式会社
建築物の設計業務を行う者	極東開発工業株式会社
建築物の建設業務を行う者	株式会社新井組
運営業務を行う者	極東サービスエンジニアリング株式会社
維持管理業務を行う者	極東開発工業株式会社

2 参加資格審査

選定委員会は、応募者の提出した資格審査申請書が、入札説明書の「参加資格要件」を満たしていることについて市の報告を受け、確認した。

3 提案審査

(1) 提出書類の確認

選定委員会は、応募者の提出した書類が全て入札説明書の指定どおりに揃っていることについて市の報告を受け、確認した。

(2) 基礎審査

選定委員会は、応募者の提出した技術提案書に対し、市が要求する要求水準を満たしていない、又は技術提案書の内容に対する疑義を明瞭化事項として取りまとめた書類により、明瞭化作業を実施した内容について市の報告を受け、確認した。

(3) 技術点の算定

令和4年(2022)11月22日(火)に選定委員会は、応募者の提案書類内容について、ヒアリングを実施し、予め公表された落札者決定基準に基づき、技術点を次のとおり算定した。

技術点の評価項目表に基づく技術点

提案受付番号	技術点
CS-03	27.531点 / 40点

【事業計画に関する項目】

評価項目		個別配点	CS-03
大項目	中項目		
事業の全体計画	1	2.0	1.767
応募者の企業実績	2	1.6	0.800
応募者の配置技術者実績	3	1.8	0.600
地元貢献計画	4	4.0	3.350
小計		9.4	6.517

【設計・建設業務に関する項目】

評価項目		個別配点	CS-03
大項目	中項目		
施工計画	5	1.0	0.933
安全対策	6	3.0	2.250
環境保全計画	7	1.0	0.500
プラント 設備計画	資源化及び最終処分計画	8	1.4
	エネルギー利活用計画	9	0.8
	安定・効率運転計画	10	1.0
	啓発設備計画	11	0.4
	機器計画	12	1.8
建築計画	施設配置・動線計画	13	2.2
	見学者動線等計画	14	1.0
	景観計画	15	0.4
その他独自提案	16	1.2	1.200
小計		15.2	10.315

【運営・維持管理業務に関する項目】

評価項目		個別配点	CS-03
大項目	中項目		
全体計画	運営・維持管理体制	17	2.0
	セルフモニタリング計画	18	1.0
	安全対策	19	1.4
	資金計画	20	0.4
運営計画	受入管理計画	21	0.6
	運転管理計画	22	2.4
	環境管理計画	23	0.4
	啓発施設運営計画	24	1.2
	見学者対応計画	25	0.4
維持管理計画	26	3.6	2.000
情報管理計画	27	0.8	0.533
その他独自提案	28	1.2	1.200
小計		15.4	10.699

(4) 入札価格の確認

令和4年(2022)11月25日(金)15:00から応募者立会いの上、開札を行い、選定委員会は、応募者の入札価格(税抜き)が入札書比較価格以下であることについて市の報告を受け、確認した。なお、入札価格(税抜き)は、入札書に記載された金額と同額となる。

【CS-03の入札価格(税抜き)】	
建設工事費	; 6,961,000,000 円
運営・維持管理業務委託費(20年間)	; 8,803,200,000 円
	(インセンティブ; 204,200,000 円(税抜き)を含む)
合計	; 15,764,200,000 円
【入札書比較価格(予定価格の110分の100の額)】	
建設工事費	; 6,961,330,000 円
運営・維持管理業務委託費(20年間)	; 8,803,580,000 円
	(インセンティブ; 204,200,000 円(税抜き)を含む)
合計	; 15,764,910,000 円

(5) 価格点の算定

令和4年(2022)11月25日(金)に選定委員会は、予め公表された落札者決定基準に基づき、価格点を次のとおり算定した。

提案受付番号	入札価格		価格点
CS-03	15,764,200,000 (税抜き)	17,340,620,000 (税込み)	60.000点 / 60点
【算定式】			
価格点 = 配点 × 応募者全てのうち最低入札価格(税抜) / 当該応募者の入札価格(税抜)			
応募者すべてのうち最低入札価格(税抜): 15,764,200,000 円			

(6) 総合評価点の算定

令和4年(2022)11月25日(金)に選定委員会は、応募者の技術点及び価格点を合算し、総合評価点を次のとおり算定した。

評価項目(大分類)	配点	極東開発工業(株)グループ (提案受付番号;CS-03)
技術点	40点	27.531点
価格点	60点	60.000点
総合評価点	100点	87.531点

(7) 低入札価格調査

選定委員会は、応募者の提出した低入札価格調査報告書により、入札価格が契約図書の内容に適合した履行がされないおそれがないことについて市の報告を受け、確認した。

第3 落札者等の候補の市に向けた答申

選定委員会は、落札者決定基準に基づき、提案受付番号【CS-03】の企業グループを落札者の候補として最も適当なものとして選定し、また、次点落札者候補は該当者なしとして市に向けて答申した。

【落札者の候補】

応募者名;極東開発工業(株)グループ(提案受付番号;CS-03)

項目	企業名
代表企業	極東開発工業株式会社
プラントの設計・建設業務を行う者	極東開発工業株式会社
建築物の設計業務を行う者	極東開発工業株式会社
建築物の建設業務を行う者	株式会社新井組
運営業務を行う者	極東サービスエンジニアリング株式会社
維持管理業務を行う者	極東開発工業株式会社

【次点落札候補者の候補】

該当者なし

第4 各提案に関する評価の概要

応募者の提案に対する選定委員会の評価項目別の評価概要は次のとおりである。

評価項目	評価 (CS-03)
事業計画に関する項目	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 建設事業者、運営・維持管理事業者ともに実績のある者を中心に構成され、役割分担が具体的であった。また、計画段階から資料を情報共有する等、連携が図られており、優れた提案であった。 ▶ 災害発生時を除くリスクに対し、最大限の予想と対応策が過不足無く提示されており、優れた提案であった。一方、災害発生時のリスクへの事前の対応策は一般的な提案であった。 ▶ 運営・維持管理業務での市内人材や市内資材等の活用について、数値目標が示された具体的な提案であった。
設計・建設業務に関する項目	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本施設での火災防止、爆発防止に向けて過去の経験に基づき検討されており、その対策や対応も優れた提案であった。 ▶ 可燃残渣や不燃残渣の選別基準を満たすために小径物風力選別機が採用されており、残渣中の異物除去に効果が期待できる提案であった。 ▶ 各機械設備の選定に当たっては、運営面や維持管理面の効率化等に向けて、経験に基づく優れた提案であった。 ▶ 施設配置・動線計画は車両交錯の低減を図っており、サイン計画も分かりやすい提案であった。また、繁忙期の対応と安全性も最大限考慮した提案であった。 ▶ 独自提案として火災検知時の系外排出の仕組み、イベント工房設置等の提案がなされ、いずれも優れていた。
運営・維持管理業務に関する項目	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 運営・維持管理体制について詳細かつ具体的な計画が立案されていた。また、人員不足時においてはケース毎に具体的な対応方法が明確に示された提案であった。 ▶ 運転管理計画は、経験に基づいた工夫がされているとともに、異物を確実に発見できる手選別人員も多く配置されていたが、手選別人員のアシストや作業環境の向上について、ハード面に工夫の余地がある提案であった。 ▶ 見学者対応については、順路やスケジュールに工夫がみられる提案であった。 ▶ 維持管理計画は一般的な提案であったが、工夫の余地が少ない中でも、消耗品等の削減に取り組む提案であった。 ▶ 独自提案として直接搬入車両の受入台数の増加等の提案がなされ、いずれも優れていた。

第5 選定委員会の総評

本事業の事業者の募集及び選定は、「総合評価一般競争入札」とし、公平性及び透明性の確保、事業者における本市の意向の理解促進並びに事業者の創意工夫発揮の観点から、技術提案を受け付けたうえで落札者等の候補の選定を行った。

本事業の入札に参加した企業グループは1グループであったが、要求水準を上回るとともに比較的高いレベルであった。選定委員会では、落札者決定基準に基づき技術提案内容やヒアリング内容を踏まえた技術評価を行い、厳正なる審査を行った結果、極東開発工業（株）グループを落札者の候補として選定した。

極東開発工業（株）グループの提案は、市が掲げた施設整備の基本方針である「適正かつ安定的なごみ処理が可能となる施設」「資源の有効活用に優れた施設」「災害時における防災能力に優れた施設」「公害防止や周辺景観との調和に配慮した施設」「ごみ減量・再資源化の学習拠点となる施設」「ライフサイクルコスト削減を可能とする施設」「地球温暖化対策に寄与する施設」を十分に実現させることが可能であると判断した。

選定委員会は、極東開発工業（株）を代表企業とする企業グループに対し、要求水準書及び技術提案内容を誠実かつ確実に履行することを要望する。また、本事業を通じて、市と極東開発工業（株）グループが良きパートナーとなり、地元を含めた信頼関係を構築するとともに、市の意向を踏まえた上で、本事業が計画的かつ円滑に進むよう対応されることも要望する。